

桜 島

【所在地】鹿児島市，鹿児島郡桜島町

【種 別】県指定名勝

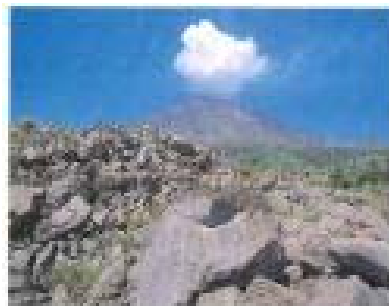
【指定年月日】昭和 29 年 3 月 15 日



桜島は、整った山容を清明な鹿児島（錦江）湾に浮かべ、鹿児島市をはじめ鹿児島湾に臨む各市町村からその秀麗な山の姿を望むことができる。また、鹿児島の港に出入りする船舶の格好の目標ともなり、鹿児島を訪れる旅行者が最初に眼にする姿でもある。桜島はまさに鹿児島県民の心の拠りどころであり、鹿児島のシンボルの一つである。

およそ 22,000 年前に始良火山が大噴火して陥没し、その後 2 万年前に海底から再び成長してきた桜島は、今なお活発に活動する活火山であり、和銅元（708 年）年以来、すでに 30 数回の噴火が記録され、今なお活発に活動を続けている。古来何回となく繰り返した噴火活動の結果、流出した時代の異なる溶岩が世界有数の規模の溶岩原を形成しており、溶岩原における植物の遷移や、動物の生態等、生物の観察上からも興味深い自然探求の場となっている。また、観光やレクリエーションの場としても好適な場所である。

周囲 52km，面積 80・，高さ 1,118m（北岳）の円錐体の上部が切断されたホマーテ型火山である。



溶岩原

溶岩原